

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

物理学コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・ 物理現象に貫かれる基本法則・根本原理の追究を通じて得られる物理学に関する深い理解
- ・ 物理現象の本質・普遍性を見抜き、新たな課題を発見・探究する力
- ・ 物理の専門知識に基づいて新たな知見を創造し、発信する力
- ・ 高い見識と倫理観のもとに物理学のフロンティアを先導する力
- ・ 物理学と他分野の知見を有機的に結びつけ、活用する力
- ・ 専門分野において国際的にリーダーシップを発揮する力

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディプロマ・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

- A) 博士論文研究と講究を通じた、深い物理的素養及び世界的水準の高度な専門知識の修得
- B) 先端的研究を推進している各研究室における少人数専門教育と学位論文作成を通じた問題設定能力、問題解決能力、及び創造力の修得
- C) 集中講義形式による最先端の知識の修得
- D) 実践的な講義、発表会、外国派遣を通じた実践的語学力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の修得
- E) 国際研究集会の企画・実施等を通じたリーダーシップ能力の修得

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

物理学系では、自然現象への知的好奇心を有し、物理学の基礎学力と応用力を身に付け、創造性をもつ人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- ・物理学の研究を推進するために必要な学力を備えている
- ・物理学の研究を推進するために必要な、実践的な問題解決能力や創造力を備えている
- ・国際的な場で研究活動を推進できる語学力、議論する能力を有している

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、物理学系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、物理学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。